

北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会 開催結果

1. 日 時

令和8年8月4日（火） 13時45分から15時15分まで

2. 場 所

宮津市福祉・教育総合プラザ 3階 第1コミュニティルーム

3. 出席者

委員37名（うち代理8名）

オブザーバー1名

（別紙 出席者名簿参照）

4. 当日資料

別紙のとおり

5. 議 題

第1号 協議会規約の改正について

第2号 令和7年度事業報告について

第3号 令和7年度収支決算について

第4号 令和8年度実施計画に係る主な取組の進捗状況について

第5号 利用促進策の検証について

第6号 その他

6. 主な意見

〈第1号 協議会規約の改正について〉

○特に意見なし。

○異議なく承認。

〈第2号 令和7年度事業報告について〉

○特に意見なし。

〈第3号 令和7年度収支決算について〉

○特に意見なし。

○異議なく承認。

〈第4号 令和8年度実施計画に係る主な取組の進捗状況について〉

- 中学生夏休みお試し乗車券について、QRコードを用いたアンケートを使い、利用者がどこに住んでいるかを聞けたら、この先高校生になったときの展開にも繋がるのではないかな。
- 全国ローカル鉄道サポーターズサミットについて、全国各地からローカル鉄道を下支えし、いろいろな地域おこしをされている方が来るので、情報交換という形でアイデアや進め方をご教示いただける学びの場になるのではないかな。
- スマホ通学定期券について、購入に際して通学の証明が新たに必要なのは仕方ないことだとは思いますが、学校に通学証明書の発行をお願いするのがハードルになっている。学校と連携したうまい形ができるとよい。
- 鉄道で移動している人にとっては駅から徒歩15分は地の果てであるため、車前提の空間のあり方でなく、駅から徒歩何分でどこに回れるのかということを念頭に置いて施策を考えれば、回遊性が上がるのではないかな。
- 駅の周辺になにかあるというのは将来に繋がる。駅の近くに高校生が勉強できるスペースや喫茶店があることが重要。
- さらにデータが集まれば、より良い議論ができるということを念頭に置きながら引き続きご尽力いただきたい。
- 丹鉄は、地域の皆さんの手伝いや補助金を活用したプロジェクトの推進など、本当に努力されている。この努力を結果に繋げたい。

〈第5号 利用促進策の検証について〉

- 他の地方鉄道では通学定期の発券が減っているが、丹鉄では増えている。
- 通勤定期、定期外は補助金等を使いながら努力をしている箇所であるが、数字が目標に届いていない。しかし、沿線には有名な観光地もあるため、伸びていく可能性があるのではないかな。
- 総数で増減を見ても理由が分からないため、どんな方が、どこに住んでいる方が、どこからどこまで乗ったのかという空間データがほしい。

〈第6号 その他〉

○特に意見なし。